

大規模災害を想定した
院内HOTステーション
立ち上げ訓練

contents

- ・肺癌治療の新展開『肺癌を早くきれいに治す』
- ・地域連携研修会の報告と次回予告

CHECK

山梨県立中央病院 医療連携 だより

大規模災害を想定した 院内HOTステーション立ち上げ訓練



山梨県立中央病院
医療連携・福祉支援科部長
呼吸器内科

筒井 俊晴

10月26日に大規模災害を想定した訓練が行われましたが、呼吸器内科では在宅酸素療法（HOT）を受けている患者を収容するためのHOTステーション立ち上げ訓練を実施しました。2011年の東日本大震災の経験から、災害時にはHOT患者が病院へ殺到することが予想されますが、院内の酸素設備のみでは対応できません。酸素業者に協力を要請し、酸素濃縮器などの専用機器を院内に搬送し、設置する必要があります。有事の際、迅速に対応できるように当院では2017年よりこの取り組みを開始いたしました。当院以外でHOTの管理を受けている患者が来院することも想定されるため、患者の疾患や酸素の処方量を記入した「HOTカード」を用意し、携帯していただくよう各酸素業者に依頼させていただいております。他県でも同様の取り組みが報告されており、近年様々な地域で災害時のHOT患者の支援体制について本格的に検討されるようになって参りました。災害時に病院の機能を損なうことなく診療を継続していくためには、全てのHOT患者を病院のみで収容することは理想的ではありません。避難所などにも収容場所を設置する必要があると考えられますが、行政がHOT患者を把握できていない、患者側も避難所がわからない、そもそも避難所に電源が確保されていないなど数多くの課題が解決されていません。そこで行政にもこうした状況を知ってもらうため、今年は甲府市の防災企画課の職員や保健師の方に現場を見学していただき、新聞社にも取り上げていただきました。また当事者の声も重要であると考え、啓蒙活動も兼ねて実際のHOT患者にも数名ですが訓練に参加していただきました。

訓練に関わっていただいた皆様のご協力のおかげで今年も無事に終了することができました。今後は行政、医師会、医療機関、酸素業者と連携し、災害時のHOT患者への対応についてさらなる協議を行い、支援体制を充実させていきたいと考えております。



地方独立行政法人山梨県立病院機構

山梨県立中央病院

YAMANASHI PREFECTURAL CENTRAL HOSPITAL

患者支援センター

〒400-8506 山梨県甲府市富士見1-1-1

TEL.(直通)055-253-9000/FAX.(直通)055-251-7733



山梨県立中央病院
肺がん・呼吸器病センター
統括部長

後藤 太一郎

肺癌治療の新展開 『肺癌を早くきれいに治す』

肺がん・呼吸器病センターの後藤太一郎と申します。私事ではありますが、慶應義塾大学病院より当院に赴任して10年が経過しました。この10年間、当院の肺がん診療に関して様々な変革を加えた結果、より理想的な診療体系が構築できたと実感しております。今回、その一端をご紹介します。

CHECK
1

単孔式胸腔鏡下手術 (Uniportal VATS) 開始のご案内

単孔式胸腔鏡下手術 (Uniportal VATS) とは、文字通り1つの傷（単孔）で手術を行う最新かつ最も低侵襲な胸腔鏡手術です。近年の医療機器の進歩と共に、より低侵襲な胸腔鏡手術 (Reduced port VATS) を目指して考案されました。従来の複数（2-5個）の孔で行う胸腔鏡手術よりも、整容性に優れ、また、損傷する肋間数が少ないことから疼痛が少ないことが利点です。



開胸

DaVinci

単孔式

小さな切開一つで行う単孔式胸腔鏡手術は**究極の低侵襲手術** (ultimate minimally invasive surgery) と呼ばれています。この単孔式胸腔鏡手術を実施するには、従来の多孔式胸腔鏡手術よりもさらに高度な技術が必要です。当院では2024年8月から自然気胸・転移性肺腫瘍に、2024年10月から原発性肺癌に Uniportal VATSを導入しています。自然気胸・転移性肺腫瘍に対しては側胸部に1.8cm、原発性肺癌に対しては側胸部に3.5cmの単孔を作成し手術を行っております。

当科独自の術式改良を重ね症例を蓄積した結果、現在、当科の呼吸器外科手術の約6割が Uniportal VATS、約2割がロボット手術 (DaVinci)、残りの2割が小開胸手術となっています。国内で Uniportal VATS を本格的に実施している施設は現時点で5～6施設に限られ、**甲信越地域では当院のみで実施可能**です。実際に手術を受けた患者様からは、「痛みが少ない」「痛みが全くない」といった感想を多くいただいております。非常に好評を得ています。また、気胸症例では術後2日目、肺癌症例でも術後3日目での退院が可能となり、患者様の早期社会復帰が実現しています。

当科の新たな取り組みをご紹介します。なお、術式選択においては、病態や安全性を考慮し、個々の患者さんにとって最適の術式を提示・選択いたします。

CHECK 2

術前術後の免疫療法を併用した 積極的手術治療を本格的に始動

近年、免疫チェックポイント阻害剤を中心とした免疫療法が大きく進歩した結果、肺癌手術と免疫療法を効果的に組み合わせることで、進行肺癌の治療成績が大幅に向上しています。術前に免疫療法を含む薬物療法を行い、その後手術を実施し、術後に再度免疫療法を行う方法は「**サンドイッチ療法**」と呼ばれています（手術を免疫療法で挟み込む、という意味です）。実際、当院ではこの1年間、進行肺癌に対してサンドイッチ療法を中心に、手術と免疫療法を組み合わせた集学的治療を積極的に行ってきました。現在では、**月に3～4例の患者様に対してこの手術を実施しており、治療成績は劇的に改善しました。**

従来、治療が難しいとされていた進行肺癌の患者様でも、最新の医療技術を駆使することで、完治の可能性があります。また、他院で手術が不可能と診断された患者様でも、当院では手術が可能と判断されることがあります。当科は肺がん・呼吸器病センターの一部門として、呼吸器内科と密に連携し、効率的な診療を行っています。また、当院は県内唯一のがんゲノム医療拠点病院として、**肺がんに対するがん遺伝子プロファイリング検査を積極的に実施**しています。これらの取り組みにより、当院の肺がん治療成績（全生存率や術後無再発率など）は国内トップレベルであると自負しています。難治症例も含め、ぜひ当センターへのご紹介をお待ちしております。

最新の肺がん治療：サンドイッチ療法

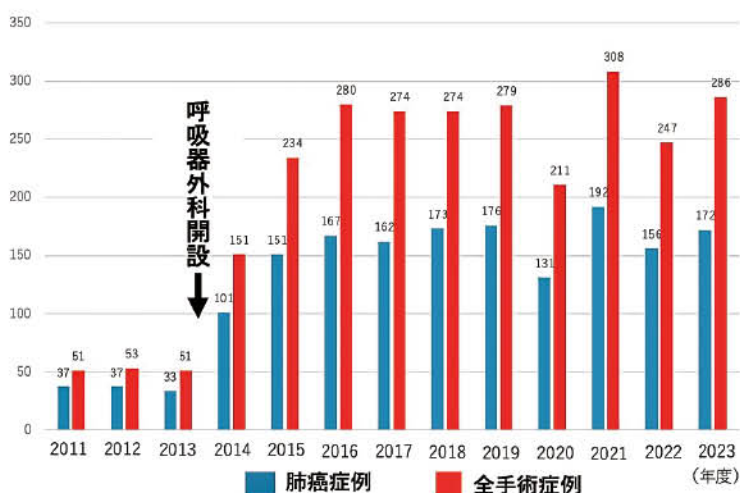
免疫療法

手術

免疫療法

当科の後藤医師が 医療新聞社『最新治療データで探す 名医のいる病院 2024』に 掲載されました。

CHECK 3



手術症例数の年度別推移

COVID-19流行が一段落し、本年度の手術症例数は300例を大幅に超える見込みです。また、2025年3月を目指して、ロボット手術と単孔式胸腔鏡手術を融合させた最先端の術式「Reduced Port RATS」の導入に向けて、現在鋭意準備を進めています。県民の皆様に貢献できるよう、安全性を最優先にしながら、引き続き努力して参ります。

肺がん診療においては、紹介医の先生方との緊密な協力体制が極めて重要だと考えています。ご紹介いただいた患者様には、その病態や診察時間に関わらず、必ず診察させていただきます。また、術後の患者様については、引き続き紹介医の先生方にケアをお願いするとともに、当センターでは専門的な観点からがん治療後のフォローアップを行っていきます。今後とも、貴院からのご紹介を賜りますようお願い申し上げます。

地域連携研修会が開催されました

2024

9.18 WED

「緩和ケア領域における
最近の鎮痛薬の動向」

山梨県立中央病院 緩和ケアセンター統括部長
阿部 文明 医師

医療用麻薬（オピオイド）を中心にオピオイドの具体的な処方例やレスキューの使用、副作用対策など実践的な内容で講演いたしました。一番新しい強オピオイドのヒドロモルフォンの説明もあり、大変有意義な研修会となりました。



2024

11.11 MON

「総合周産期母子医療センターとしての役割」



総合周産期母子医療センター 産科
笠井 真祐子 医師

山梨県内では唯一となる総合周産期母子医療センターの担う医療について講演いたしました。当院は超早期と小児外科疾患を中心とした重症で高度な医療を必要とする妊婦さんに対して24時間体制の搬送受入のみでなく、ホットラインでのコーディネーターを担っております。また、超音波検査を用いた中期スクリーニング検査での出生前診断にも力を入れております。母体の健全な妊娠継続のみでなく新生児の長期予後の改善を見据えた医療を提供できるよう日々努力を続けております。

次回研修会

Web研修会

Zoomでの開催

2025

日時: 1月14日(火)

18:30~19:30

拡大新生児マススクリーニングと
追加検査

山梨県立中央病院
小児科 臨床研修センター長

齋藤 朋洋 医師

研修会の情報はホームページ
でもご案内しています。
併せてご覧ください。



<http://www.ych.pref.yamanashi.jp/>

紹介状のある初診患者さんは、患者さんご自身による電話予約や、
かかりつけ医によるFAX予約ができます。 **FAX. 055-253-2903**

当院では、日頃よりかかりつけ医を持っていただくことをお勧めしています。

体調に変化があったときはかかりつけ医に相談の上、紹介状（診療情報提供書）を持って受診してください。

紹介状のある初診患者さんは、初診の予約ができます。予約をすることで初診はさらにスムーズになります。

電話予約の流れ

1

かかりつけの
医院を受診

紹介状をもらって
ください

2

専用ダイヤルにお電話

以下にお電話ください

☎ 055-253-7900

9:00~17:00 月~金(祝祭日除く)

①紹介状 ②電話診療予約申込書
③当院の診察券(お持ちの方は)

お電話前に
準備して
ください

3

受診当日

ご予約30分前に総合案内にお越しください

お持ちいただく物

①紹介状 ②電話診療予約申込書
③保険証 ④当院の診察券
⑤受給者証(老人医療、公費等該当する方)

MRI検査(放射線診断科)の予約について

下記をご確認の上、ご予約をお願いいたします。

体内金属の有無についてご確認いただき、診療情報提供書に記載をお願いいたします。

「MRI対応ペースメーカー」が留置されている患者様は、適応判断のため検査前に当院ペースメーカー外来(循環器内科)の受診が必要になります。



詳細は当院ホームページ(QRコード)をご確認ください。

当連携だよりは、100%再生可能エネルギー(CO2フリー)で制作しています。

